

2015-B

拠出金・基金の
名称

経済開発協力機構(OECD)・経済協力開発機構開発センター拠出金

種 別

イヤーマーク ノン・イヤーマーク

【拠出先の国際機関名】経済開発協力機構(OECD)・経済協力開発機構開発センター

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局開発協力企画室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

本拠出金は、開発センターの活動のひとつである「東南アジア経済アウトルック」の作成に対する支援。
本件アウトルックは、東南アジア諸国の経済状況・開発課題等を分析し、これらに対する提言をまとめており、東南アジアにおける開発政策立案等において参考となる。また、本アウトルックの作成や関連のイベント等を通じて、OECDによる東南アジアとの相互学習が促進され、国際社会による東南アジア諸国の開発に対する貢献の強化が期待できる。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	2,735	20		1ユーロ = 140円	100
平成26年度	2,735	21		1ユーロ = 128円	100
平成25年度	4,341	41		1ユーロ = 107円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

開発センターは、途上国の経済及び開発に関する調査研究、有効な援助の実施に必要な情報をOECD加盟国に提供する活動等を実施。同機関はその調査研究プロセスにおいて、OECD非加盟の新興国との関係構築を重視しており、近年はこうした国を中心に加盟国が増加している。またOECD開発戦略の実施においても重要な役割を果たしており、今後同機関が途上国開発の議論に与える影響は今後一層増大することが期待される。我が国は「東南アジア経済アウトルック」刊行に向けた調査研究活動に資金貢献。2014年のOECD閣僚理事会において、安倍総理は、本件アウトルックを、東南アジア諸国が抱える課題への処方箋を示すものとして評価した。

我が国は開発センターに2016年6月1日付で復帰し、今後はメンバーとして「東南アジア経済アウトルック」刊行を含む同センターの活動に貢献していく。